

「松浦に来てみんね！」

—交流人口増大に向けた

取り組みと現状—

海と山に囲まれ、自然豊かな松浦市。それらの特長を生かして、松浦市は近年、交流人口の増大に向けた体験型観光やグルメツアーなどに力を入れています。

これらの取り組みは、松浦市への集客数を伸ばし、着実に成果を上げてきています。

今月号では、交流人口増大に向けた取り組みと現状を紹介します。



「グルメツアーに来てみんなね！」

新鮮な魚を活用し

まつりを開催

グルメツアー客が

松浦とらふぐに舌鼓

松浦市は、アジ・サバの水揚げ量日本一を競うまちで、トラフグの生産量日本一でもあります。そこで、旬のブランド魚のPRと交流人口増大で地域の活性化を図ろうと、まつうら海鮮街道実行委員会（小松英史会長）は2年前から「旬あじまつり」（4月～8月）、「旬さばまつり」（10月～1月）、「松浦とらふぐまつり」（10月～3月）を開催しています。

このまつりは、まつりに参加している市内の宿泊・飲食店と鮮魚販売店で、旬の魚を味わうことができるもので、これまでも市内外でPR活動を行ってきました。

昨年の3つのまつりでは、約2万食を販売するなど、多くの市内外の人に旬の魚を味わってもらっています。

「松浦とらふぐまつり」にあわせて、福岡県観光バス事業協同組合が昨年10月から「松浦のとらふぐ三昧と散策の旅」を企画し、福岡県内から多くの旅行者が松浦市を訪れ、松浦とらふぐに舌鼓を打っています。

同企画は、市内でとらふぐ料理を味わい、松浦魚市場や道の駅「松浦海のふるさと館」の見学もできる「日帰りコース」と、市内でのそばうち体験を加えた「二泊二日コース」があります。

期間中、約140団体、約4000人が松浦とらふぐの料理を堪能する予定です。



▶旬あじ



▶旬あじ



▶とらふぐ



今度は友人と一緒に来たい



「松浦のとらふぐ三昧と散策の旅」
日帰りの
グルメバスツアー参加者
よしとも
佐々木 良友さん
(福岡県うきは市、50)

このツアーには、職場の慰安旅行で参加しました。参加者の都合で、これまでの1泊2日の旅行から日帰りに変更できないかと考えていたところ、旅行社から日帰りバスツアーの紹介があったので申し込みました。

旅行代金はお手軽で、品数の抱負なとらふぐ料理が味わえて満足しています。松浦市は、うきは市からでもゆっくり日帰りできる距離にあるので、松浦とらふぐを堪能できるほかに、松浦魚市場を見学したり、道の駅で買い物をしたりできるゆったりとしたプランでした。

これまで松浦は、平戸への通過点としか考えていませんでしたが、松浦とらふぐ、旬あじ、旬さばのことを知り、またその時期に友人を誘って来てみたいと思っています。



▲グルメバスツアーで振る舞われる松浦とらふぐ料理



▲松浦魚市場で、水揚げされたアジやサバがせり売りされるまでの様子を見学